

「くまモンファン感謝祭2023 in TOKYO」企画運營業務委託に係る プロポーザル募集要項

1 プロポーザル実施の目的

首都圏における「くまモンファン感謝祭2023 in TOKYO」事業に伴う業務委託に当たっては、熊本県営業部長兼しあわせ部長の「くまモン」の活動を日頃から応援いただいているファンの皆様に感謝の気持ちを伝えるとともに、広く「くまモン」の魅力や熊本の物産・観光等の情報を発信することにより、新たな「くまモン」ファン及び熊本ファンを掘り起こすことを目的とする本業務を遂行する上で、高い企画力・運営力等の専門性が必要なことから、これらを有した者を選定するため、プロポーザルを実施する。

2 委託する業務

別添「くまモンファン感謝祭2023 in TOKYO企画運營業務委託仕様書」のとおり。

※仕様書の内容については、熊本県及び受託予定者との協議により、予算の範囲内で変わる可能性もある。

3 実施スケジュール

(1) 告示（熊本県ホームページ）	令和4年（2022年）6月 2日（木）
(2) 参加申込書提出期限	令和4年（2022年）6月27日（月）正午
(3) 質問書提出期限	令和4年（2022年）6月30日（木）正午
(4) 提案書提出期限	令和4年（2022年）7月 4日（月）正午
(5) 第一次審査（書類審査）結果通知	令和4年（2022年）7月中旬
(6) 最終審査（プレゼンテーション）	令和4年（2022年）7月25日（月）
(7) 審査結果通知	令和4年（2022年）7月下旬
(8) 企画内容協議・調整・契約締結	令和4年（2022年）9月下旬

4 参加資格の要件

本プロポーザルに参加できる者は、以下の条件を全て満たす者とする。

- (1) 法人格を有すること。
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。
- (3) 次のいずれにも該当しない者であること。

ア 民事再生法（平成11年法律第225号）第21条第1項の規定による再生手続開始の申立てをした者又は同条第2項の規定による再生手続開始の申立てをされた者

イ 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条第1項の規定による更生手続開始の申立てをした者又は同条第2項の規定による更正手続開始の申立てをされた者

ウ 国又は地方公共団体による指名停止処分を受けている者

(4) 消費税及び地方消費税並びに都道府県税において未納がない者であること。

(5) 宗教活動や政治活動を活動目的としていないこと。

(6) 手形交換所による取引停止処分、主要取引先からの取引停止等の事実があるなど、経営状態が著しく不健全でないこと。

(7) 賃金不払いに関する厚生労働省からの通報が知事に対してあり、当該状態が継続している場合であって、明らかに受託者として不適当と認められる者でないこと。

(8) 当該法人の役員が、次の各号のいずれにも該当する者でなく、かつ、次のイ及びウに掲げる者がその経営に実質的に関与していないこと。

ア 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

イ 暴力団員（法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）

ウ 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者

エ 当該法人若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者

オ 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等、直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者

カ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者

5 参加申込み及び質問書の提出

本プロポーザルに参加を希望する者は、次により参加申込書及び質問書を提出すること。

(1) プロポーザル参加申込書等

① 提出書類：各1部

ア （様式1）プロポーザル参加申込書

イ （様式2）会社概要

「事業内容」「組織概要」「会社の沿革」「その他参考となる事項」については、記入する代わりに、パンフレット等既存の資料の添付でも構わない。

ウ 登記事項証明書

法務局が提出日の3カ月以内に発行した現在事項証明書の原本に限る。

エ 直近2事業年度における決算書の写し

オ 納税証明書（原本、3カ月以内に発行されたもの）

（ア）消費税及び地方消費税に未納がないことの証明書

(イ) 県税に未納がないことの証明書

原則として、熊本県税に未納が無いことの証明書を提出することとするが、熊本県内に本社、支店、営業所等が無い場合は、本社の所在地の都道府県が発行する都道府県税に未納が無いことの証明書を提出すること。

※東京都等「都道府県税に未納がない」という証明書が発行されない場合は、法人都道府県民税及び法人事業税・地方法人特別税についての直近の事業年度分の納税証明書

カ 委任状

本店の代表者から支店、営業所等の代表者へ契約行為の権限を委任する場合に限る。様式は任意とする。

※提出物の省略

現在、熊本県の入札参加資格を有している者は、上記ウからカまでの書類を省略することができる。その場合、(様式1)にある「(参考)入札参加資格」欄に該当する登録番号を記入すること。

- ② 提出方法：持参又は郵送（配達証明に限る）
- ③ 提出先：〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 銀座熊本館3階
熊本県東京事務所くまもとセールス課（TEL：03-3572-5021）
- ④ 提出期限：令和4年（2022年）6月27日（月）正午必着
※郵送の場合も期限内の必着に限る。

(2) 質問書

- ① 提出書類：(様式3) 質問書
※口頭による質問は受け付けない。
※質問がない場合は、提出不要。
- ② 提出方法：電子メール
- ③ 提出先：ginzakumamoto@pref.kumamoto.lg.jp
※電話で到達確認すること。（TEL：03-3572-5021）
- ④ 提出期限：令和4年（2022年）6月30日（木）正午必着
- ⑤ 質問に対する回答：熊本県ホームページに掲載する。

6 企画提案参加資格の確認及び資格がないと認められた者に対する理由の説明

- (1) 企画提案参加資格の確認については、申請書等の提出期限日をもって行うものとし、結果（参加資格がないと認めた場合はその理由も含む。）については、書面により通知する。
- (2) 参加資格がない旨の通知を受けた者は、通知をした日の翌日から起算して7日（休日を含まない。）以内に、知事に対して参加資格がないと認めた理由について、書面（様式は自由）により説明を求めることができる。

- (3) 知事は、説明を求められたときは、説明を求めることができる最終日の翌日から起算して5日（休日を含まない。）以内に説明を求めた者に対し書面により回答する。

7 企画提案書の提出

(1) 企画提案書の内容

① 表紙（様式4）

② 実施方針等

ア 業務の具体的な実施手順やその考え方、作業スケジュールを示した資料

イ 来場者に訴求すべき熊本、「くまモン」の魅力を有した企画の概要

③ イベント企画案

ア 日本工学院専門学校 片柳アリーナ（東京都大田区西蒲田5-23-22）を活用した企画案

イ 同アリーナ「地下4階ホワイエ」を活用した企画案

ウ インターネット等を活用したライブ配信、アーカイブ配信

エ イベント当日の新型コロナウイルス感染症対策

オ イベントの告知展開企画

カ 現地での観覧を中止した場合の代替企画案

キ 日本工学院専門学校との連携企画

ク 効果を高めるための独自提案

④ 実施体制等

ア 統括役、県との窓口役などの体制（人数）、各スタッフの職務遂行能力・実績を評価できる資料

イ 直近3年間の本業務と類似する業務実績を評価できる資料

⑤ 従事予定者の経験・能力

ア 従事予定者の経験・能力を評価できる資料

⑥ 参考見積額

内訳を明確に示すこと。

※注意事項

- ・ 企画提案書については、表紙以外に提案者名を記入しないこと。
- ・ サイズは原則A4版とし、クリップ止め（テープ等で止めない）とする。
- ・ 上記①～⑥の順番で編纂すること。
- ・ 提出書類は、片面印刷、両面印刷は問わないが、長辺とじを意識すること。
- ・ イメージ図等の使用やフォントの変更は自由とする。また、文字数やページ数に制限はないので、提案者の負担にならない程度で記載すること。

⑦ 留意事項

ア くまモンを活用する場合は、「くまモンオフィシャルホームページ（くまモン利用申請、くまモン出動依頼等）」を参考にすること。

イ 事業実施においては、提案内容をベースに実施することとするが、内容について協議の上、変更する場合がある。

(2) 提出方法等

① 提出書類：8部（正本1部、副本7部）

② 提出方法：持参又は郵送（配達証明に限る）

③ 提出先：〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 銀座熊本館3階
熊本県東京事務所くまもとセールス課（Tel：03-3572-5021）

④ 提出期限：令和4年（2022年）7月4日（月）正午必着

※郵送の場合は、期限内に必着。

(3) 企画提案書を無効とする場合

次の事項に該当する場合は、無効又は失格となることがある。

ア 関係書類の提出方法、提出先又は提出期限が守られなかったとき

イ 関係書類に記載すべき事項の全部又は一部が記載されていないとき

ウ 関係書類に記載すべき事項以外の内容が記載されているとき

エ 申請書に虚偽の内容が記載されているとき

オ その他、選考委員会での協議の結果、審査を行うに当たって不相当と認められるとき

(4) 提出された企画提案書の取扱い

① 一度提出のあった書類については、追加、差し替え及び再提出は原則として認めない。

② 提出された提案書は、業務関係資料の保存のため返却しない。また、不採用となった提案者の企画は一切転用しない。

③ 提案書の作成、提出及び選考に要する一切の費用は、提出者の負担とする。

④ 県は、提案書の審査及び説明のため写しを作成、使用することがある。

⑤ 提出された提案書は、熊本県情報公開条例（平成12年熊本県条例第65号）に基づき公開することがある。

(5) 注意事項

事業実施においては、提案内容をベースに実施することとするが、内容について協議のうえ変更する場合がある。

8 受託者の選定方法

(1) 第一次審査（書類審査）

募集期間終了後、資格審査の上、次の（2）の表の評価項目に基づき提案書等に記載された内容を審査し、事業の実施効果が高いと見込まれる最大3件程度の提案を選考する。

なお、必要に応じ電話等によるヒアリングを行う。選考結果については、提案書記載の住所あてに文書にて通知する。

(2) 選考のポイント

選考に当たっては、次の評価項目について審査を行う。

審査項目	評価項目	配点
実施方針・イベント 企画案等 (配点55点)	① 業務の実施方針 仕様書で定めた業務内容を十分に理解しているか	5
	② 当日の現場での展開及び告知展開企画 ア 「くまモンファン感謝祭2023 in TOKYO」にふさわしい内容や展開が含まれているか イ イベント当日、新型コロナウイルス感染症対策が講じられているか ウ 効果的な告知展開が提案されているか	15
	③ 代替企画案 現地での観覧を中止した場合の効果的な代替企画案が用意されているか	15
	④ 作業計画 作業計画が、上記②、③の実現に向けて、妥当かつ現実的であるか	10
	⑤ 日本工学院専門学校との連携 日本工学院専門学校の学生と効果的に協働できる企画が提案されているか	5
	⑥ 効果を高めるための提案 仕様書に記載した内容以外で、本業務の効果を高める提案がなされているか	5
実施体制等 (配点30点)	① 実施体制 実施内容に対して、適切な人員が確保されているか、役割分担が明確かつ適切であるか、迅速・柔軟に対応できる体制が備わっているか	10
	② 類似業務の実績 本業務と類似の契約実績がどの程度あるか、関連した契約実績があつて業務を遂行するにあたり有益な知見があると判断できるか	10
	③ 実施能力 組織として実施内容に関する幅広い知見、情報収集能力を有しているか、円滑に業務を遂行するためのバックアップ・管理体制が示されているか	10

従事予定者の経 験・能力 (配点15点)	① 類似業務の実績 類似業務の経験があるか	5
	② 専門知識・ノウハウ 業務内容に関する専門知識、ノウハウ等があるか	5
	③ 保有資格 業務内容に有益な資格等を有しているか	5

(3) 最終審査（プレゼンテーション）の開催

第一次審査を通過した提案については、提案者が最終審査会においてプレゼンテーション（事業説明）を行うこととし、最も事業効果が高いと県が判断した提案者を受託者として選定する。

① 最終審査会の開催日等

開催日：令和4年（2022年）7月25日（月）

時間：別途通知 ※持ち時間は質疑等を含め30分程度

場所：都道府県会館4階405会議室（東京都千代田区平河町2-6-3）予定

結果：提案書記載の住所あて文書にて通知する

※審査会参加者からの選考理由又は結果に関する問い合わせ、若しくは異議については応じない。

② 審査員

委託候補者の選定を厳正かつ公平に行うため、提案書の審査、委託候補者の選考を行う上記①の審査会を構成する審査員は、熊本県職員の中から業務の関連性を考慮して3名程度を選出する。

③ 審査及び委託候補者の選定

ア 最終審査会では、提案書及び参加者からのプレゼンテーション内容を「(1) 第一次審査（書類）」にある評価項目に基づき審査し、最高得点者を本業務に適した委託候補者として選定する。

イ 審査員の持ち点は各100点とし、合計点は100点×3人＝300点とする。

また、最低基準を150点とし、最低基準に満たず提案がなかった場合は、委託候補者該当なしとして再度公告のうえ、企画提案書を募集する。

ウ 最高得点で、同点の企画が複数出た場合、1位を選定した審査員の多い企画から順に委託候補者、次点者を決定する。さらに、同点の場合は、審査員の多数決により決定する。

エ 委託候補者が、「4 参加資格の要件」に該当しないことが判明した場合又は契約を辞退した場合には、次点者を委託候補者とする。

9 関係書類

関係様式等は、熊本県ホームページから入手すること。

10 その他

(1) 委託契約の締結

県は、委託候補者と協議を行い、契約条件を確認の上、改めて見積書を徴取し、予算額の範囲内で委託契約を締結する。

なお、必要な契約条件に合致しない場合、契約の締結を行わない場合には、次点者と契約について協議する。

(2) 契約保証金

契約に当たっては、熊本県会計規則第77条の定めるところにより、契約金額の100分の10以上の契約保証金を契約締結の時までに納付すること。

ただし、熊本県会計規則第78条の規定に該当する場合は、免除とし、具体的には、次のとおりとする。

ア 保険会社との間に熊本県を被保険者とする履行保証保険契約を結び、保証証券を契約締結の時までに提出したとき。

イ 過去2年の間に国又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を、数回以上にわたって締結し、これらすべてを誠実に履行し、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。

(3) 注意事項

- ① 一度提出のあった書類については、原則として差し替えを認めない。
- ② 提出された提案書は、業務関係資料の保存のため、返却しない。また、不採用となった提案者の企画は一切転用しない。
- ③ 提案書の作成、提出及び選考に要する一切の費用は、提出者の負担とする。
- ④ 受託者の選定のため、提出された提案書の写しを作成し、使用することがある。
- ⑤ 提出された提案書は、熊本県情報公開条例（平成12年熊本県条例第65号）に基づき公開することがある。
- ⑥ 企画案に関しては、業務として採用されないこともある点に十分注意いただき、関係者とトラブルがないようにすること。
- ⑦ 本業務により作成した成果品に関する全ての著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は、熊本県に帰属するものとする。
- ⑧ 次の事項に該当する場合は、無効又は失格となることがある。
 - ア 関係書類の提出方法、提出先又は提出期限が守られなかったとき。
 - イ 関係書類に記載すべき事項の全部又は一部が記載されていないとき。
 - ウ 関係書類に記載すべき事項以外の内容が記載されているとき。
 - エ 申請書に虚偽の内容が記載されているとき。
 - オ その他、審査を行うに当たって不相当と認められるとき。
- ⑨ 参加申請手続きを行った後、都合により企画提案に参加しないこととなった者は、（様式5）参加辞退届を提出すること。
- ⑩ 審査で最高位の評価を受けた者が、参加要件を満たしていない場合は、契約締結ができないので注意すること。（この場合、次順位の者と契約について協議を行うものとする。）
- ⑪ 審査で最高位の評価を受けた者を受託者として選定した後に、業務内容を適切に反映した仕様書を作成するために、その者に対して業務の具体的な実施方法について提

案を求めることがある。

- ⑫ 本事業の実施について、この要項に定めるもののほか、必要に応じて別に定める。

【提出先、お問合せ先】

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-3-16 銀座熊本館 3階

熊本県東京事務所くまもとセールス課（担当：潮崎・濱田）

TEL : 03-3572-5021 FAX : 03-3574-6714 Eメール : ginzakumamoto@pref.kumamoto.lg.jp